

平成29年度 第1回 岐阜県後期高齢者医療広域連合運営懇話会議事要旨

日時 平成29年11月27日(月) 13:53~15:43

場所 岐阜大学サテライトキャンパス 多目的講義室(大)

出席者 委員10名

事務局長、事務局次長、総務課長、
資格電算課長、給付課長、総務企画係長、
資格管理係長、電算係長、担当2名

○ 事務局長あいさつ

人生100年時代が現実的な時代である。今年度予算ベースで社会保障給付費が120兆円を超える。内訳は概ね年金60兆円、医療費40兆円、介護等20兆円となっている。国の予算は99兆円である。日本に限ったことではなく、東南アジア内の保健相会合では、「だれでも適切な保険医療医療サービスを負担可能な費用で受けられるユニバーサルヘルスカバレッジを目指すこと」、「住み慣れた地域で、医療・介護が受けられる地域ケアを推進すること」が確認された。後期高齢者医療制度は来年の3月で丸10年となり、来年度からは第6期目となる。給付では診療報酬改定など、負担では窓口負担の在り方など、給付と負担の在り方が様々議論されている。本日は忌憚のない意見を賜りたい。

(委員紹介・座長選出)

○ 懇話会

・後期高齢者医療制度及び岐阜県後期高齢者医療広域連合について

事務局 (資料説明)

委員 保険料は、各市町村で収納しているということだが、各市町村で収納率に差があってバランスが崩れ、保険料の調整などあるか。

事務局 収納率に大きな差はない。

・広域計画について

事務局 (資料説明)

座長 パブコメで意見は無かったようだが、これまでどのような修正意見があったか。

事務局 市町村意見照会で表記の仕方についてなど指摘があった。

委員 パブコメはもともと意見が出ない。高齢者はインターネットで意見を表明することが難しい。市町村の窓口には置いていたということだが、高齢者医療で若者も興味が無いと思う。高齢者向けのいい方法を考えて欲しい。

事務局 パブコメの制度は定着していると思うが、検討していきたい。本日の会議でも意見をいただきたい。

座長 市町村の各種計画の策定の中でパブコメを行っているが、回答は少ないと思われる。インターネットなど、やり方の検討をしていただきたい。

委員 前の資料についてだが、医療費通知の効果はあるのか。

事務局 医療費通知に対する被保険者の反応は、総医療費の通知に対し、窓口負担金と勘違いしての問合せ等が多い。何年か前には、覚えのないものがあるとの問合せがあり、調査の結果、医療費の返還に

至った事例があった。医療費通知を確定申告の医療費控除に使えるようにと国が通知を出したが、まだ対応出来ていない。

委員 いろいろだれに送っているのか。

事務局 全員に年2回通知を送っている。

・平成30・31年度の後期高齢者医療制度の保険料率の改定について

事務局 (資料説明)

委員 窓口負担が2割になるという話を聞いたが。

事務局 社会保障審議会でいろいろな意見が出ていて、議論されているようだ。

委員 軽減制度が変更になるとあるがどんな理由で、どういった風になるのか。詳しく教えて欲しい。

事務局 75歳になられる前日に被用者保険の被扶養者であった方については、制度が始まった時から特例軽減があった。もともと2年間限定で均等割を5割軽減するというもので、特例で期限を定めず9割軽減が適用されていた。医療給付費の増大などから、改定されている状況。今年度は7割、30年度は5割、31年度からは軽減無となる。ただし低所得者については、9割軽減などがある。年収約153万円から年収約211万円の方は、特例の軽減が行われていたが、見直しがされるもの。これまで算定された所得割額を半額としていたが、今年度からは2割軽減に、30年度からは軽減無とするもの。

事務局 激変緩和措置を本来の制度に戻したもの。

委員 保険料は増収になり国の負担は減るのか。

事務局 そのとおり。全国広域として軽減特例の見直しについて激変緩和してもらうよう要望している。

委員 医療費の見込み、高額薬剤費をどう考えているか。

事務局 一人当たり医療費については、診療報酬の改定を受けないと分からないので、次期保険料は、算定中。後期高齢の高額薬剤については、県下全体で30人くらいが使用していると聞いている。薬価制度は見直しの仕組みが変更になっている。

委員 そういう人が増えると保険者は困るのでないか。安全弁はないのか。他の保険者ではプールしていると聞いたが。

事務局 ない。平成27年度には保険給付費の補正予算を行った。ただし、後期高齢者医療でも高額レセプトについては、国と他広域で積み立て制度があり、支給を受けている。

・岐阜県後期高齢者医療データヘルス計画について

事務局 (資料説明)

委員 歯科健診について、受診率目標5%以上を目指すとの。受診率も大切だが、受診した結果の検討も大切。この健診は、口の中の機能を図るという健診を行っているが、その健診の結果が見えてこない。口腔の機能が分かれば、その対策も立てられる。健診結果を示してもらい、その結果を学術団体なり大学なりと一緒に検討し、さらに、その結果を検討すると良いと思うので考えてもらいたい。

事務局 国民健康保険は、平成30年度から県も保険者となる。年齢で保険者は変わるが、健診事業や健康増進事業というのは継続しなくてはいけない。後期高齢でも健診事業は市町村にお願いしており、県も同じ立場になると思う。後期高齢と県で組んで、データ分析をどうするか、介護保険とのデータの連携をどうするのか、市町村のやりやすい健診の形など、保健事業の在り方を検討してはどうかと考えており、県に相談している。

- 委員 行政の縦割りの弊害は言われている。会議で持ってくるデータに横の連携がないことが多い。せっかくのデータヘルスなので、やはり資料に基づき分析してより効果的なものを出していくことが必要と思われるので再度検討を要望する。
- 委員 すこやか健診ですが、中津川市は低いが。
- 事務局 医者への受療率が8割近くと高く、かかりつけ医的なかかわりをしている地域であったと聞いている。健診の受診率が低いのがどうのこうのとも言えない。レセプト統計をとると月15日以上入院の方が4.3%ある。健診の受診率の良い悪いはなかなか言えない。もう少し詳しく分析出来ればと考えている。
- 委員 可児市では、8020制度で表彰をしているので、歯の健康に関心を持っており、口腔健診は数字が上がるのではないか。すこやか健診は、健康寿命の延伸に私たちも取り組んでいるので、何かいい方法があればと思う。
- 委員 すこやか健診の受診率が低いのは明らか。内容を豊富にして魅力的な健診にシなくてはいけない。認知症のチェック、フレイルのチェックなどを組み込めば増えるのでは。医師会では目のチェックも大事と考えている。予防という点からも、もっとお金を使ってもいいのでは。また多剤については、10種類は多いとは思いますが必然性が有るものあり、多いからという理由だけでダメというのはやめてほしい。頻回受診に関しても、毎日あるいは一日おきに行くのは一概に良くないというのは同様であり、いかがなものか。
- 委員 在宅診療でお世話になった。先生の都合で毎日来てもらえなかったが、在宅診療も進めていただければよい。
- 事務局 高確法が出来た時に他保険者には健診を義務付けたが、後期高齢者制度にはなかった。75歳未満の方はメタボなどが中心。今の後期高齢者向けの健診の内容がふさわしいとは考えていない。後期高齢者の健診の要望を国に出しているが、法律の明記には至っておらず、努力支援制度があるので、それぞれの保険者が最適な保健事業を行ってくださいと、国から言われている状態である。健診は健診でしっかりやっていきたいが、その健診結果から、どの人をピックアップして指導していくかなど、しっかりしていないのも事実。この両輪を進めていきたいと考えている。
- 委員 さわやか口腔健診に関連してだが、私の通う歯医者では4か月に1回定期検診の案内が来る。お医者さんによってはやらないところもある。効果があるように感じるので、歯科医師会として検討していただけたらよい。
- 委員 急性期の医療から、慢性期の医療に変わって行くことに従い、健康な状態で歯医者にかかることにエビデンスが出てきた。担当される先生の年代などにより、違いがあるかもしれないが、今後はその方向に学生教育なども変わっているのでは、そういう方向に移っていくと思われる。
- 委員 薬はジェネリックが安いと、薬局の窓口でさかんに言われる。一方で、お医者さんの処方されたものを変えてくれとは言にくい。成分は一緒だからと薬局の窓口では言われるし、お医者さんは、先発薬品で書いてくるが。
- 委員 薬局では、それぞれ個人のデータに、ジェネリックを希望しているかどうかが表示されるシステムもある。ジェネリックの通知を各保険者が出しているのでは、通知を持ってきたら、後発医薬品についての説明をして理解していただき、替えていただける方には替えていただいている。現在、後発の使用率は60%を超えているが、国としては80%を目標としている。処方が先発で、後発に替えた場合は、先生に連絡して、納得していただくというようなシステムになっている。
- 委員 先発品には研究費をかけて、臨床実験も行って認められている。後発品は行っていない。成分が一緒と言うだけで認められている。本当に同じ効果か立証がない。歴史の差があり、価格の差もある。先生によっては、後発に切り替えることをよしとしない方もいる。同じ成分でも人によっては効く

効かないがあるかもしれないので、かかりつけの先生によく相談すると良い。
委員 私の知人も、後発品に替えたら医者に怒られたと聞いたことがある。

座長 全ての議題が終わりました。事務局に返します。

(終了 15:43)